学校番号	2003

平成 31 年度　理科

教科	理科	科目	物理	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	改訂　物理　（東京書籍）						
副教材等	改訂ニューグローバル物理＋物理基礎（東京書籍） 改訂版　フォトサイエンス物理図録（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

公式を覚えて問題を解くことができるようになることが、物理ができるということではありません。身のまわりの現象を理解し、それらを数式を使うことにより、より詳しく知ることが出来ることが、物理がわかるということです。それを忘れずに、勉強に取り組んでください。授業では、難しい言葉や考え方が出てきます。復習はもちろんですが、予習の時間も大切にしてください。
すでに学んだ物理基礎の応用分野を抽出して学習します。総まとめだと思って物理基礎分野の復習もしておきましょう。

2　学習の到達目標

・物理的な事物・現象に対する探究心を高める。
・目的意識をもって観察・実験などを行い，物理的に探究する能力と態度を身につける。
・物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な自然観を身につける。
・科学技術の在り方について意思決定するために必要な，科学的な見方や考え方を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	**物理学的な事物・現象に関心や探究心をもち，主体的に探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。**	**物理学的な事物・現象の中に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。**	**物理学的な事物･現 象に関する観察，実験 などを行い，基本操作 を習得するとともに， それらの過程や結果を 的確に記録，整理し，自然の事物･現象を科 学的に探究する技能を 身に付けている。**	**物理学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理･法則について理解を深め，知識を身に付けている。**
評価方法	学習状況の観察 ノートやﾌﾟﾘﾝﾄの記述 探究活動の記録	学習状況の観察 ノートやﾌﾟﾘﾝﾄの記述 探究活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやﾌﾟﾘﾝﾄの記述 観察・実感の記録 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやﾌﾟﾘﾝﾄの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

考査	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期								
二学期								
三学期	剛体/運動量/熱/音/電気と磁気	剛体のつりあい	○				a: 剛体にはたらく力のつりあいを身の回りの現象と照らし合わせて理解を深める。 静電気について電子の移動と関連付けて理解し電界の強さを定量的に扱えるようになる。 b: 様々な理想気体の状態変化をグラフから読み取り、定量的に数式で扱えるようになる。波の独立性，重ね合わせの原理，反射について観察や作図を通して学び，それらを数式で表現できる。 c: 運動量に関する測定を行い、それらの結果を的確に記録、整理できるようになる。 d: 原子や分子の熱運動と温度との関係を理解し、気体の圧力，内部エネルギーについて理解する。音波を題材にドップラー効果について学び、自然界の現象，身の回りでの利用について理解する。	学習状況 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		運動量			○			
		気体の分子運動				○		
		気体の状態変化		○				
		波の性質		○				
		音と振動				○		
		電荷がつくる電界	○					